

# 「宿利原小学校の宿利原棒おどり・薩女おどり伝承活動の取組」

## 1 学校名

錦江町立宿利原小学校

## 2 学年・人数

1年生から6年生（計10人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和3年7月下旬～8月上旬 宿利原小学校体育館・旧宿利原中学校体育館

※ 今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

### (2) 発表の日時・場所

令和3年8月 宿利原納涼大会（旧宿利原中学校体育館）

※ 今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

### (1) 名称

宿利原棒おどり・薩女おどり（やどりはらぼうおどり・さっじょおどり）

### (2) 由来

ア 宿利原棒おどり

昔から宿利原・池田地区に伝えられている。

イ 薩女おどり

宿利原に昔から伝えられている。

### (3) 構成等

ア 宿利原棒おどり

踊りの人数に制限はないが、4人1組になって踊る。服装は白浴衣、たすき、はちまき、脚絆、草鞋、手甲である。道具は約1.2mの棒の先に刃渡り15cmのナタがついているものと、約60cmの鎌を用いる。二人がナタ・二人が鎌を持って踊る。

イ 薩女おどり

女の子の踊りで、服装はカスリの浴衣、陣笠をかぶる。約45cmのナギナタを右手に持ち、1文銭を針金に通したものを左手に持ち、ガラガラ音をたてて振りながら踊る。

## 5 保存会や地域との連携の具体

宿利原棒おどり保存会の方は、宿利原小学校の男子児童に指導及び伝承し、薩女おどり保存会の方は、宿利原小学校の女子児童に指導及び伝承を行っている。

学校と地域住民、各保存会の方々との連携ができていて、平成27年度までは、今までの流れで伝承を行っていたが、平成27年度からは、学校から保存会へ指導の要請を行って指導していただいている。令和元年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、宿利原棒おどりを披露した。（農林水産大臣賞受賞）

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

文化財伝承・活用の取組は今現在も、どの方法がベストであるか、模索している最中であるが、学校・文化財保存会・児童が、協力し伝承できている今の形が良いのではないかと考えている。

発表の場を増やし、地区住民や出演者だけでなく、町民の皆さんにもこのような文化財があるということを知っていただけるように今後も活動していきたい。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

※令和元年度の様子



宿利原棒おどりの練習の様子



薩女おどりの練習の様子



納涼大会での宿利原棒おどりの様子



納涼大会での薩女おどりの様子

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 覚えるのは大変だけど、踊ることができて楽しい。
- ・ 最初は恥ずかしかったけど、今は踊るのが楽しくなってきた。

### 【保存会】

- ・ 先生方も子供たちも真剣に文化財保護及び伝承に取り組んでいただきありがたい。

### 【教員】

- ・ 児童が一生懸命練習し、踊っているのを見て、楽しみも含めながら応援したい。